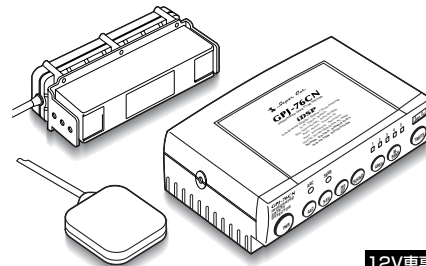


## 保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。  
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

|          |          |                                                                |  |
|----------|----------|----------------------------------------------------------------|--|
| 品 番      | GPJ-76CN |                                                                |  |
| S/N      |          |                                                                |  |
| お買い上げ年月日 | 保証期間     | 対象部分 機器本体(消耗部品を除く)<br>お買い上げの日から 年                              |  |
| お客様      | お名前      | 様                                                              |  |
|          | 住所       | TEL.( )                                                        |  |
| 販売店      | 店名・住所    | 上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。 |  |

**ユピテル工業株式会社**  
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33  
6SS0660-C



このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
本機は、スピード取締り機存在を前もってお知らせする受信機です。

GPS測位は、特に初めてのときなど、地理的状況により20分以上かかる場合があります。  
障害物や遮へい物のない視界の良い場所に移動し、車を停車して行ってください。

### ⚠ 注意

この説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。  
なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

GPJ-76CN

GPSアンテナ付超高感度セパレートレーダー探知機

# GPJ-76CN

## 取扱説明書

### 目次

|      |                              |
|------|------------------------------|
| はじめに | 安全上のご注意 ..... 2              |
|      | 主な特長 ..... 6                 |
|      | ご使用にあたって ..... 8             |
|      | 各部の名称と働き ..... 10            |
| 使いかた | <b>レーダー編</b>                 |
|      | 音量/警報音/受信感度を設定する ..... 12    |
|      | 便利な機能について ..... 16           |
|      | iDSPについて ..... 17            |
|      | 取締りレーダー波受信時の警報について ..... 20  |
|      | カーロケ帯&取締無線受信機能の使いかた ..... 22 |
|      | <b>GPS編</b>                  |
|      | GPS測位機能について ..... 27         |
|      | GPS測位機能の使いかた ..... 28        |
|      | NシステムGPS告知 ..... 34          |
|      | マイ・エリア警告の使いかた ..... 36       |
|      | MSC/ミニマムセセンス制御の使いかた ..... 38 |
|      | AACシステムの使いかた ..... 40        |
|      | ASS機能について ..... 44           |
| その他  | 取締りレーダー波を受信しにくい場合 ..... 45   |
|      | 取締りのミニ知識 ..... 46            |
|      | 故障かな?と思ったら ..... 48          |
|      | 仕様 ..... 52                  |
|      | アフターサービスについて ..... 53        |
|      | 無料修理規定 ..... 55              |
|      | 保証書 ..... 裏表紙                |

# 安全上のご注意

つづく

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

**⚠ 警告**：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**⚠ 注意**：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

## 絵表示について

**⚠** この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

**⊘** この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

**❗** この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## ⚠ 警告



水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。



穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

## ⚠ 警告



コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、コードがいたんだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となるばかりでなく、機器が正常に働きません。



指定以外のヒューズは使用しない…指定以外のヒューズを使用すると、異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一定格のものと交換してください。



コードの接続は、**+** **-**の極性をよく確かめて、取付説明書にしたがって確実にを行う…異常過熱や発火・故障の原因となります。



表示された電源電圧以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。本機は、12Vマイナスアース車専用です。



運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。



穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。



機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

はじめに

はじめに

## ⚠警告

- 

操作ユニットの取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドルなど）の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- 

操作ユニットを助手席エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき、動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。
- 

煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。
- 

万一、キャビネットを破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
- 

警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。
- 

サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

## ⚠注意

- 

取り付けは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。
- 

お手入れの際は、エンジンを切り、コード類をすべてはずす…感電の原因となります。
- 

エアコンやヒーターなどの温風の吹き出し口の近くに操作ユニットを取り付けない…異常過熱して、故障や発火の原因となります。
- 

本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

本機を使用中のスピード違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけてください。

# 主な特長

## 1 GPS測位機能

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の24個の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、従来のレーダー探知機では警報することのできなかった、ループコイル式オービスやLHシステムも、ボイスで警告します。

### ① GPSボイス警告 [特許出願中]

『ポーン 右(または、左)1km(または、500m)先に高速道(または、一般道)ループコイル式オービスがあります』とボイスで警告。

- オービス識別ボイス…オービスまでの距離約1kmと約500m手前の2カ所で、ループコイル式・LHシステム式・Hシステム式・レーダー式とオービスの種類を識別して、ボイスで警告。
- 方向識別ボイス…進行方向に設置されたオービスのみを警報し、反対方向のオービスは警報しません。さらに、進行方向に対して、オービスが右手または左手方向に約25°以上のときは、その方向もお知らせします。
- 高速/一般道識別ボイス…オービスが高速道路上に設置されているか、一般道路上のものを識別してお知らせします。

### ② トンネル出口警告 [特許出願中]

『ポーン このトンネルの出口付近に高速道(または、一般道)LHシステム式オービスがあります』とGPSの電波を受信できないトンネルの出口付近のオービスを、入口の手前でボイス警告。

### ③ NシステムGPS告知

『ポーン 右(または、左)すぐ先に高速道(または、一般道)Nシステムがあります』とボイスでお知らせ。

### ④ マイ・エリア警告

『ポーン 右(または、左)1km(または、500m)先にセットしたエリアがあります』 移動オービスの出没位置など、登録したいエリアを30カ所メモリーでき、近づくとボイスで警告。

### ⑤ MSC\*/ミニマムセンス制御 [特許出願中]

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらず、レーダー警報が鳴るエリアを30カ所メモリーでき、登録ポイントから半径約200mエリア内でのレーダー警報レベルを最低に制御。  
※Minimum Sensitivity Controlの略です。

### ⑥ AAC\*/不要警報カット [特許 第2064681号]

GPS測位機能により、時速40km以下で走行中または停車中の不要な警報をカット。  
※Auto Alarm Controlの略です。

### ⑦ ASS\*/最適感度選択 [特許 第3051676号]

GPS測位機能により、走行速度が時速40km以上の場合にはスーパー感度、60km以上はエクストラ感度、80km以上はスーパーエクストラ感度と最適感度を自動選択。  
※Auto Sensitivity Selectionの略です。

### ⑧ オービス&Nデータ更新対応

ご要望により、最新のオービスおよびNシステムのデータに更新可能。(送料・税別 ¥5,000 データベースは半年に1回程度更新されます)

## 2 カーロケ帯&取締無線受信機能

① 音声受信…407.7MHz帯のカーロケ・データ伝送の受信音で、近くにカーロケーターシステム搭載車がある可能性が高いことをお知らせ!また、350.1MHz取締り現場無線の交信の内容を丸ごと傍受。

② ボイスガイド…『ピピピピッ 電波を受信しました。ご注意ください』と、350.1MHzまたは407.7MHz帯の電波を受信すると、女性のボイスでお知らせ。

③ 電子音アラーム…『ピピピピッ』と、350.1MHzまたは407.7MHz帯の電波を受信すると、電子音アラームでお知らせ。

## 3 iDSP\*

統合的デジタル信号処理技術(iデジタル)により、超高精度識別を実現。

※ integrated Digital Signal Processing Technologyの略です。

### ① ボイス識別

- 新Hシステム識別…『Hシステムです』と通常波と区別して女性のボイスでお知らせ。  
[特許 第3326363号・第3428531号]
- ステルス識別…『ステルスです』と通常波と区別して女性のボイスでお知らせ。

### ② GPS対応

カーナビのモレ電波を受けにくい設計構造。

## 4 S-EXTRA/スーパーエクストラ感度

衛星技術を応用した探知距離2倍(当社比)の超最高感度。Wスーパーヘテロダイン…スィープオシレータ式超高精度受信方式。

フリップチップinアンテナ…高周波基板へのアンテナ接続による損失を極小に抑えたオリジナルチップ搭載で高感度を実現。[特許 第3229564号]

X/Kツインバンド…Xバンド/Kバンドの2バンド対応。後方受信…後方からの取締りレーダー波も確実にキャッチ。

## 5 レーダーアラーム機能

① ボイス アラーム…レーダー式取締り機までの距離に応じて、『ご注意ください』『危険です』とテンポアップボイスで警告。

② 3Dオケメロ アラーム…『運命』『禿山の一夜』『カルメン』のオーケストラ演奏による3段階警報。

③ Wアラーム方式…音(ボイス/メロディ/電子音)&光(フラッシュミュート/シグナルメーター)のダブルで警報。

④ 接近テンポアップシステム…レーダー式取締機に近づくに従い、電子音だけでなく、ボイスもテンポアップ。

⑤ フラッシュミュート…取締りレーダー波を受信すると、ミュートボタンがフラッシュ(点滅)してお知らせ。

## 6 自動制御機能

① お知らせボイス…『ボイスにセットされました』や『スーパーエクストラモードにセットされました』など設定したモードを、ボイスでお知らせ。

## 7 その他

● 防水型磁石固定式GPSアンテナ [防水規格: JISD0203D2]…雨に濡れても安心の防水型&耐風速180kmの強力磁石固定タイプ。● 検知部防水 ● ワイヤレス式: 検知部の受信信号をFM変調により、車の電源ラインを使って操作部へ伝送。

# ご使用にあたって

## 取り付けについて

- 取付説明書にしたがって、正しく取り付け(接続)を行ってください。
- ご自分で取り付けできない場合は、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご相談ください。
- 本機は、操作ユニットと受信ユニット間の伝送を車の電源ラインを使って行っています。本機の接続終了後、操作ユニットの電源ボタンを押した状態で車のエンジンを始動させると、確認音が鳴ります。(「パワー・オン・ビープ」12、16ページ参照)  
確認音が鳴らない場合は、ユニット間の伝送が正常に行われていません。各コードの接続場所、とくにアースコードの接続位置を、もう1度確認してください。

## 動作温度範囲について

- 本機は、-20℃～+85℃まで正常な動作が保証されています。夏、冬とも安心してご使用ください。

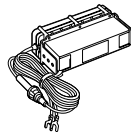
## 梱包内容の確認

- 取り付けおよびご使用前にお確かめください。

● 操作ユニット(1)



● 受信ユニット(1)



● 操作ユニット用ビスセット(1)

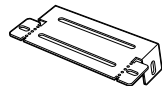
● 受信ユニット用ビスセット(1)

● マジックテープ(1)

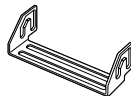
● 防水型磁石固定式GPSアンテナ(1)



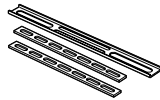
● 操作ユニット用ブラケット(1)



● 受信ユニット用ブラケット(1)



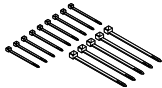
● ステー(3)



● GPSアンテナ用防水パッド(1)



● タイラップセット(1)



● コードクリップセット(1)



● GPSアンテナ車内設置用プレート(1)



● 中継コード(約5m)(1)

● 取扱説明書・保証書(1)

● 取付説明書(1)

本機を取り付けてのスピード違反に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心掛けください。

# 各部の名称と働き

## 操作ユニット

### 感度ランプ [SENS]

受信感度の状態をランプの色で表示します。(14、44ページ)

### AACランプ [AAC]

電源が入ると点灯し、警報の状態をランプの色で表示します。(41ページ)

### 受信感度セレクトボタン [S-EX]

走行環境や条件に合わせて受信感度を選べます。(14ページ)

### AACボタン [AAC]

AACシステムの設定/解除ができます。(41ページ)

### 電源ボタン [PWR]

電源の入/切ができます。(12ページ)

### 音量ツマミ [VOL]

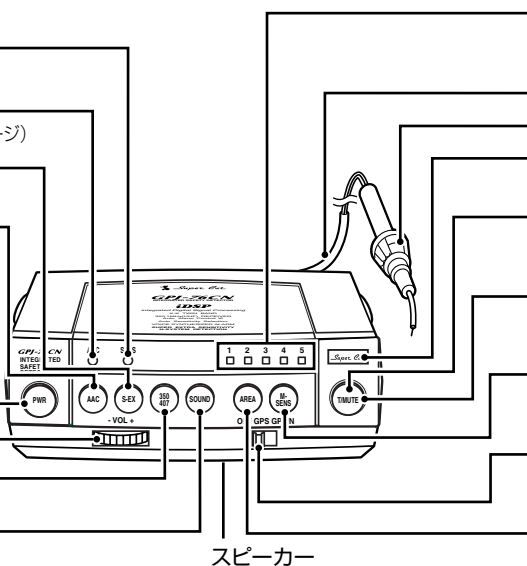
警報音の音量調節ができます。(12ページ)

### 350/407ボタン [350/407]

カーロケ帯&取締無線受信機能の設定/解除および動作モードを選べます。(23ページ)  
350.1MHzまたは407.7のMHz帯の電波を受信したとき、オレンジ色に点滅します。(24、25、26ページ)

### 警報音セレクトボタン [SOUND]

警報音が切り換わります。(13ページ)



### シグナルメーター [1~5]

受信している取締りレーダー波の強さに応じて点灯数が左から右へ増えていき、右に達するとすべてが点滅します。(20ページ)

### 電源コード/UHF帯受信用アンテナ

### ヒューズホルダー

### スーパーキャットランプ

電源が入ると赤色に点灯します。(12ページ)

### フラッシュミュートランプ

受信している取締りレーダー波の強さに応じて点滅速度が変化します。(20ページ)

### テスト&ミュートボタン [T/MUTE]

警報機能の確認や、ミュート機能を使うときに押します。(12、16ページ)

### ミニマムセンスボタン [M-SENS]

不要な警報を制御したいエリアを登録するときに押します。(38ページ)

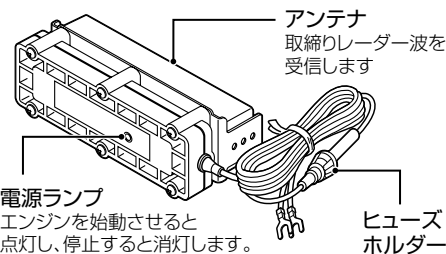
### GPS/Nモードスイッチ [GPS/N]

GPS受信機能およびNシステム検知機能の設定/解除ができます。(30ページ)

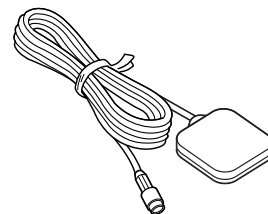
### マイ・エリアボタン [AREA]

自分の登録したいエリアをメモリーするときに押します。(36ページ)

## 受信ユニット



## 防水型磁石固定式GPSアンテナ





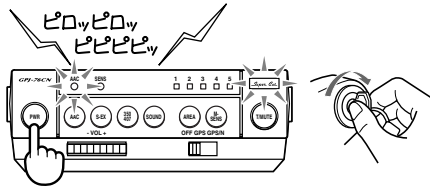
# 音量/警報音/受信感度を設定する

※設定は、必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

つづく

## 1 電源を入れる

電源ボタンを押し、「入」の状態にして、車のエンジンを始動します。



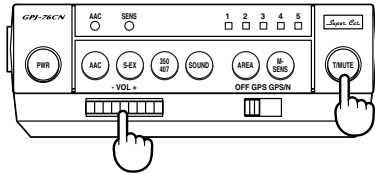
AACランプとスーパーキャットランプが点灯します。また、ユニット間の伝送が正常に行われていると、確認音が数秒間鳴り(パワー・オン・ビープ)、シグナルメーターの[1]が数秒間点灯します。(16ページ参照)

- カーロケ帯&取締無線受信機能を設定しているときは、『ピロッピロッ』のあとに『ピピピピッ』と鳴ります。(23ページ参照)

ETC(自動料金収受システム)をご使用の場合、エンジンの始動時に、ETCから発信される電波により、レーダー警報が鳴ったり、パワー・オン・ビープが鳴らないことがあります。

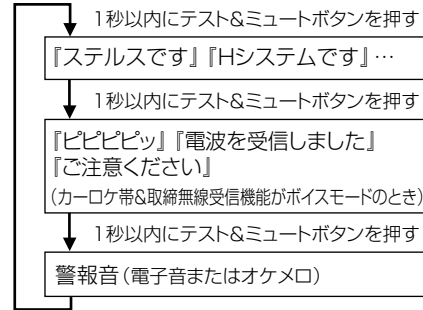
## 2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。



テスト&ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、警報音(電子音またはオケメロ)を確認することができます。

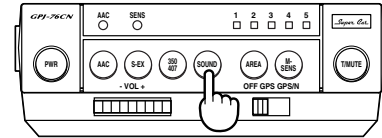
いったんテスト&ミュートボタンを放し、1秒以内に再度押すと、次の手順で警報音や音声の確認ができます。



テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。(16ページ参照)

## 3 警報音を選ぶ

警報音セレクトボタンで切り換えます。



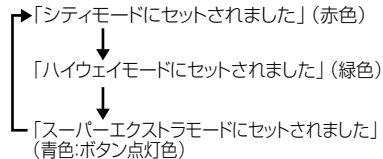
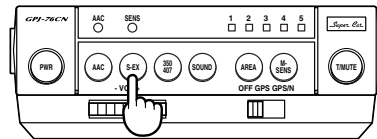
「メロディにセットされました」  
↓  
「ボイスにセットされました」  
↓  
「電子音にセットされました」

ボタンを押すたびに、ボイスで確認できます。

- 3Dオケメロアラーム  
「メロディ」にセットすると、オーケストラ演奏による①「運命」②「禿山の一夜」③「カルメン」の曲目が電波の強さに応じて、3段階に変わって警報します。
- ボイスアラーム  
「ボイス」にセットすると、「ご注意ください」「危険です」とボイスで警報します。

## 4 受信感度を選ぶ

お買い上げ時は、AACが「入」の状態(AACランプが赤色か緑色)になっています。AACランプがオレンジ色になるまで、AACボタンを押し続けてください。「ピポッ」と鳴り、「解除しました」とボイスでお知らせします)  
受信感度セレクトボタンで切り換えます。(マニュアルモード)



ボタンを押すたびに、ボイスと感度ランプおよび受信感度セレクトボタンの点灯色で確認できます。

## 受信感度について

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほかの電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。また、受信感度が高いほど、新Hシステムなどの受信には有効となります。

## ■マニュアルモード時の受信感度の切り換え

|         | 受信感度         | 走行環境    |
|---------|--------------|---------|
| 高い<br>↑ | スーパーエクストラモード | 高速道路    |
|         | ハイウェイモード     | 郊外や高速道路 |
| 低い      | シティモード       | 市街地     |

- AACに設定すると、受信感度セレクトボタンの位置にかかわらずASS機能が働き、走行速度により受信感度がシティモードからハイウェイモード、スーパーエクストラモードへと変化します。(44ページ参照)
- AAC設定時に受信感度セレクトボタンを押すと、スーパーエクストラモードになり、受信感度は変化しません。
- 本機はアクセサリ系の電源に接続しているため、電源ボタンを押した状態にしておけば、エンジンの始動・停止に連動して、電源の入/切ができます。通常は電源ボタンを押した状態で使用できます。(ただし、長期間使用しないときは、電源ボタンで電源を切ってください)

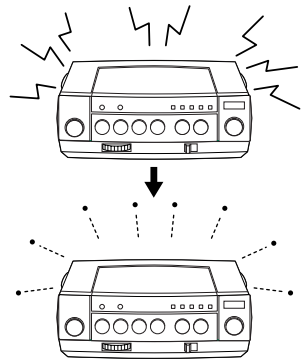


## 便利な機能について

### ミュート機能

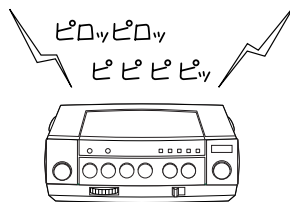
#### ●取締りレーダー波の発信源の確認ができた

警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。



### パワー・オン・ビープ

本機の電源ボタンを押した状態にしてエンジンをかけると、確認音「ピロッピロッ」とともにシグナルメーターの[1]が数秒間点灯(12ページ参照)し、本機が正常に動作していることをお知らせします。



- カーロケ帯&取締無線受信機能を設定しているときは、『ピロッピロッ』のあとに『ピピピピッ』と鳴ります。(23ページ参照)



## iDSPについて

つづく

本機はiDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」や、新Hシステムの「種類の異なる電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して『ステルスです』または『Hシステムです』と女性のボイスでお知らせします。**【ステルス識別】/【新Hシステム識別:特許 第3326363号・第3428531号】**

※ iDSPを解除することはできません。

※ iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

## ボイス識別

## ステルス識別について

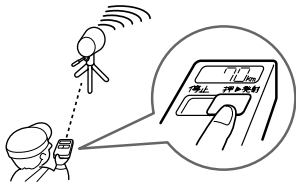
ステルス型取締り機は他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要ときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ちの取締り機です。従来機では、先頭を走行せずに2番手以降で走行していても、一瞬しか警報されません。

## &lt;ステルス波を受信したとき&gt;

- 専用のボイスでお知らせします。

|    |                                    |
|----|------------------------------------|
| 受信 | ピロピロ… (約2秒間)<br>『ステルスです<br>ステルスです』 |
|----|------------------------------------|

5秒以上受信が続くと、警報音セレクトスイッチで選んでいる通常の警報音に変わって警報します。



## 新Hシステム識別について

新Hシステムは電波を用いる自動速度取締り機(オービス)の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているため、従来機では探知(受信)しにくくなります。ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。



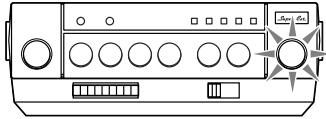
## &lt;新Hシステム波を受信したとき&gt;

- はじめは選んでいる通常の警報音(電子音、メロディ、ボイス)が鳴りますが、識別すると専用のボイスでお知らせします。

|    |                                                                  |
|----|------------------------------------------------------------------|
| 受信 | 通常の警報音<br>(電子音、メロディ)                                             |
| 識別 | ピロピロ<br>『Hシステムです』<br>ピロピロ<br>『Hシステムです』……<br>(受信している間、繰り返し警報します。) |



# 取締りレーダー波受信時の警報について

| 取締り機(電波の種類)                              | シグナルメーター                                                                                                                                                                                                                                                                    | フラッシュミュートランプ                                                                                             | 警報音                                                         |
|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 通常の見取り機<br>(常時発射されている<br>連続波)            | 左から右に点灯数<br>が増えます。<br><div> <div>1</div> <div>2</div> <div>3</div> <div>4</div> <div>5</div> </div> <div> <div>□</div> <div>□</div> <div>□</div> <div>□</div> <div>□</div> </div> <div> <div>→</div> <div>→</div> <div>→</div> <div>→</div> <div>→</div> </div>             |  <p>点滅から点灯に変化します。</p> | 選択した警報音(電子音、メロディ、ボイス)が鳴ります。電子音は断続音から連続音に変化し、ボイスはテンポが早くなります。 |
| ステルス型見取り機<br>(必要なときのみ、短時間発射される狙い撃ち的な連続波) | いきなり4つ以上<br>点灯します。<br><div> <div>1</div> <div>2</div> <div>3</div> <div>4</div> <div>5</div> </div> <div> <div>□</div> <div>□</div> <div>□</div> <div>□</div> <div>□</div> </div> <div> <div></div> <div></div> <div></div> <div>⇒</div> <div>⇒</div> </div>                |                                                                                                          | 専用のボイスでお知らせします。<br>『ステルスです…』                                |
| 新Hシステム<新型オービス><br>(常時発射されている、種類の異なる電波)   | 段階的に点灯数が増え、2つ*以上で新Hシステムを識別します。<br><div> <div>1</div> <div>2</div> <div>3</div> <div>4</div> <div>5</div> </div> <div> <div>□</div> <div>□</div> <div>□</div> <div>□</div> <div>□</div> </div> <div> <div>→</div> <div>→</div> <div>⇒</div> <div>⇒</div> <div>⇒</div> </div> |                                                                                                          | 選択した警報音で鳴りはじめ、新Hシステムを識別すると専用のボイスでお知らせします。<br>『Hシステムです…』     |

※スーパーエクストラモードのときは3つ以上で新Hシステムを識別します。

## 警告



警報機が鳴ったときに、あわててブレーキをかけないでください。急ブレーキは重大事故の原因となります。

## 接近テンポアップシステム

取締り機に近づくにしたがい、選択した警報音がテンポアップします。電子音だけでなく、ボイスもテンポアップします。

## Wアラーム方式

音(電子音、メロディ、ボイス)と光(フラッシュミュートランプ/シグナルメーター)のダブルで警報します。

- シグナルメーターの点灯が右端に達すると、すべてが点滅します。
- メロディアラームを選んでいるときでも、ステルス型見取り機や新Hシステムの電波を受信すると専用のボイスでお知らせします。
- AACの働きにより警報禁止状態のときでも、ステルス波を受信したときは専用のボイスでお知らせします。
- ボイス識別は、ミュート機能により、一時的に消すこともできます。
- 通常の見取り機を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ボイスでお知らせすることがあります。



# カーロケ帯&取締無線受信機能の使いかた

つづく

## 350.1MHz取締無線受信機能について

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われることがあります。

350.1MHz取締無線受信機能は、このような取締りに威力を発揮します。

※ 取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線の他に、通話内容をコード化したデジタル方式や有線方式もあり、受信しても内容が分からなかったり、受信自体が出来ない場合もあります。

※ カーオーディオやカーナビゲーションなどの影響により、ボイスでお知らせしたり、受信状態になることがあります。あらかじめご了承ください。

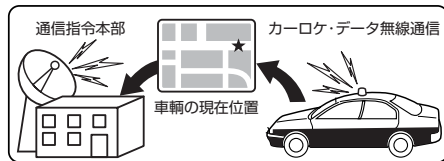
カーロケ帯&取締無線受信用のアンテナは、操作ユニットの電源コードと一緒に束ねられています。

## 407.7MHzカーロケ帯受信機能について

カーロケーターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。

カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。

このように、事前に察知することにより、緊急車輛の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

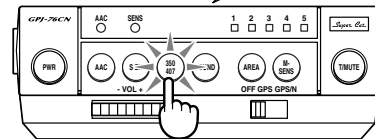


- 移動局によっては、カーロケーターシステムが搭載されていない場合がありますので、移動局が近くにいるにも受信できない場合があります。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズれる場合があります。
- カーロケーターシステムは、未だ導入されていない地域もありますので、受信できない場合があります。

## 1 動作モードを選ぶ

350/407ボタンで切り換えます。

ピピピピッ  
電波を受信しました  
ご注意ください



- 「電子音にセットされました」(緑色点灯)  
→アラームモード
- 「ボイスにセットされました」(緑色点灯)  
→ボイスモード
- 「会話にセットされました」(緑色点灯)  
→コミュニケーション(音声)モード
- 「解除しました」(消灯)

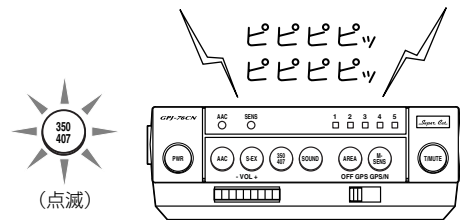
ボタンを押すたびに、ボイスで確認できます。

使いかた／レター編

## 350.1MHz/407.7MHz帯の電波を受信すると

### <アラームモードのとき>

- 350/407ランプがオレンジ色に点滅し、電子音アラームでお知らせします。

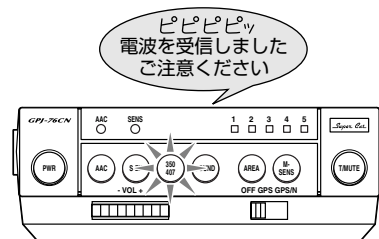


- 350.1MHzと407.7MHz帯のどちらを受信したかの区別は出来ませんので、あらかじめご了承ください。
- 350.1/407.7MHz帯の電波を一瞬でも受信すると、アラームが約5秒鳴ります。

- アラームはミュート機能で消すことができます。また約15秒以上受信が続くと、自動的にミュート機能が働きます。
- アラームが鳴ったあと、30秒以内にもう1度350.1/407.7MHz帯の電波を受信してもアラームは鳴りません。
- アラームが鳴っているときに取締りレーダー波を受信すると、取締りレーダー波受信時の警報音が優先されます。

### <ボイスモードのとき>

- 350/407ランプがオレンジ色に点滅し、ボイスでお知らせします。



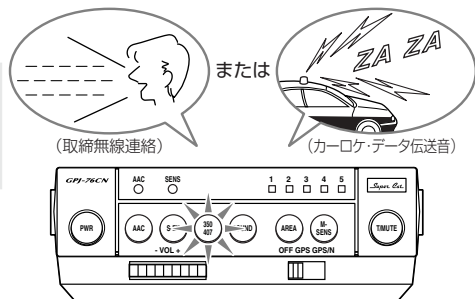
- ボイスモードの場合、350.1MHzと407.7MHz帯のどちらを受信したかの区別は出来ませんので、あらかじめご了承ください。
- 350.1/407.7MHz帯の電波を一瞬でも受信すると、アラームが1フレーズ鳴ります。また、警報中に再度電波を受信すると、もう1度、1フレーズの警報をします。
- アラームはミュート機能で消すことができます。受信が続いたときは、2フレーズの警報後、自動的にミュート機能が働きます。
- アラームが鳴ったあと、30秒以内にもう1度350.1/407.7MHz帯の電波を受信してもアラームは鳴りません。
- アラームが鳴っているときに取締りレーダー波を受信すると、取締りレーダー波の警報音が優先されます。

## カーロケ帯&取締無線受信機能の使いかた

350.1MHz/407.7MHz帯の電波を受信すると(つづき)

<コミュニケーション(音声)モードのとき>

- 350/407ランプがオレンジ色に点滅し、受信内容を聞くことができます。



- 350.1MHz取締無線がデジタル方式の場合や、407.7MHz帯のデータ送信音は、音声ではありませんので、受信しても内容は分かりません。
- 350.1/407.7MHz帯の電波を受信しているときに取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。
- 350.1MHz取締無線の交信は数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることは難しくなります。



## GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の24個の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、従来のレーダー探知機では警報できなかった、ループコイル式のオービスやLHシステムも、最大約1km手前からオービスの種類を識別して、ボイスで警告します。**[GPSボイス警告：特許出願中]**

オービスに加えてNシステムについても、最大約200m手前からボイスでお知らせします。**[Nシステム GPS告知]**

また、あらかじめメモリーされているオービスポイントに近づいたときに警告するだけでなく、移動オービスがよく出没する位置や、新たに設置されたオービスポイントなど、最大30カ所登録でき、そこに近づくと音声で警告します。**[マイ・エリア警告]**

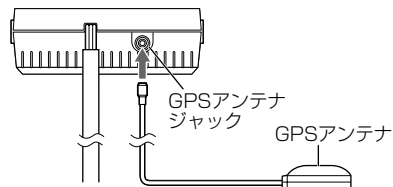
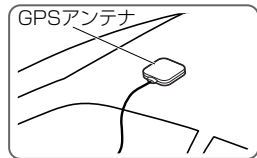
さらに、自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらず、警報が鳴るエリアを最大30カ所登録でき、そのエリアでの不要な警報を制御します。**[MSC/ミニマムセンス制御：特許出願中]**

そして、GPS測位機能を利用して走行速度を検出することにより、停車中または低速走行中の不要な警報をカットしたり**[AAC/不要警報カット：特許 第2064681号]**、取締りレーダー波の最適な受信感度を自動的に選択します。**[ASS/最適感度選択：特許 第3051676号]**



## 1 GPSアンテナを確認する

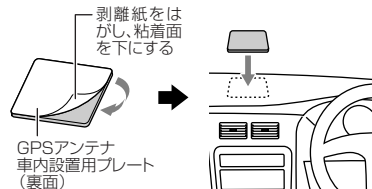
GPSアンテナが視界の良い場所に設置されていること、および操作ユニットに接続されていることを確認します。



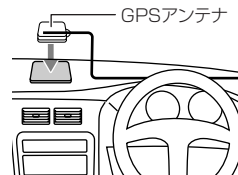
GPSアンテナは車外設置用ですが、諸事情により、やむなく車内に設置する場合、このプレートをご使用ください。

### プレートの使いかた

- ① ダッシュボードの上など、GPSアンテナを設置したい場所を決め、油污などを拭き取り、表面をきれいにします。
- ② 『GPSアンテナ車内設置用プレート』を裏面の両面テープで貼り付けます。



- ③ GPSアンテナを『GPSアンテナ車内設置用プレート』の上に置きます。GPSアンテナは底面の磁石により、固定されます。



### ⚠ 警告

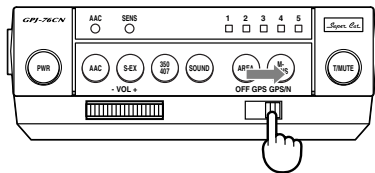
- ⊘ エアバックの妨げとなる場所に設置しないでください。エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。
- ⚠ 運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に設置してください。交通事故の原因となります。

### ⚠ 注意

- ⊘ GPSアンテナは視界が良く、GPSの電波を受信しやすい場所に設置してください。
- ⊘ あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、油分などをよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、両面テープの接着力を弱めます。

## 2 GPSモードを選ぶ

GPS/Nモードスイッチで切り換えます。



GPSまたはGPS/Nに切り換えると、GPSの電波をサーチしはじめます。

サーチが終わり、GPS測位機能が働くと、『ポーン 測位しました』とお知らせします。

サーチ後、5分経過しても測位できないときは、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせします。

- 通常、サーチが終わるまで、約10秒から約3分かかりますが、はじめてのサーチや、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、サーチに20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。
- サーチが終わった後でも、電波を受信できない状態が30秒以上続くと、『ポーン GPSを受信できません』とお知らせし、その後、再び測位すると『ポーン GPSを受信しました』とお知らせします。

### TVによるGPS測位障害について

車載TVなどをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。

これは、UHF56チャンネルの受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。ご注意ください。

## 内蔵メモリーに登録されているオービスポイントに近づくと…

約1km手前と約500m手前でオービスの種類により、ボイスで識別して警告します。【GPSボイス警告/オービス識別ボイス】

|         |                                                                    |
|---------|--------------------------------------------------------------------|
| ループコイル式 | 『ポーン 右(または、左)1km(または、500m)先に <b>高速道(または、一般道)</b> ループコイル式オービスがあります』 |
| LHシステム  | 『ポーン 右(または、左)1km(または、500m)先に <b>高速道(または、一般道)</b> LHシステム式オービスがあります』 |
| 新Hシステム  | 『ポーン 右(または、左)1km(または、500m)先に <b>高速道(または、一般道)</b> Hシステム式オービスがあります』  |
| レーダー式   | 『ポーン 右(または、左)1km(または、500m)先に <b>高速道(または、一般道)</b> レーダー式オービスがあります』   |

※光電管式は撤去され、オービスは上記4種類になりました。  
警告ポイントが約1km以内のときは『1km先に』→『この先に』とお知らせし、約500m以内のときは、距離に応じて『500m先に』→『300m/200m/100m/すぐ先に』のいずれかでお知らせします。

GPSボイス警告は、進行方向の道路上に設置されたオービスのみで、反対方向のオービスに対しては警告されません。

さらに、進行方向に対して、オービスが右手または左手方向に約25°以上の方角のときは、その方向もお知らせします。【方向識別ボイス】

•進行方向に対して、左右約25°以内のときは、「左」「右」の識別はしません。

また、高速道路上に設置されているオービスか一般道路上のものを識別してお知らせします。【高速/一般道識別ボイス】

さらに、トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警告できませんでしたが、トンネルの手前約500mと直前の2カ所※で、出口付近のオービスをボイスでお知らせします。【トンネル出口警告】

『ポーン このトンネルの出口付近に高速道(または、一般道)〇〇〇式オービスがあります』

※GPS測位の状況または地形状況によっては、1回のみの警告になります。

•本機はGPS警告よりも、取締りレーダー波受信による警報を優先しますので、GPSボイス警告がされなかったり、中断される場合があります。



# NシステムGPS告知

「自動車ナンバー自動読み取り装置」通称『Nシステム』は新Hシステムなどに似ていますが、レーダー波を使用した取締り機でないため、従来のレーダー探知機では通過しても何も反応しませんでした。そのため、「新型の取締り機ではないか？」といった疑問や不安を持ちながら運転していた人も多かったようです。

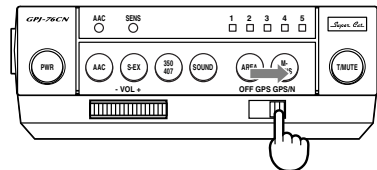
本機では、あらかじめNシステムの設置ポイントを内蔵メモリーに登録しておき、GPS測位機能を利用し、それらのポイントに近づくと、最大約200m手前からボイスでお知らせします。

## [NシステムGPS告知]

## NシステムGPS告知を使うときは…

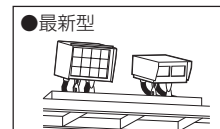
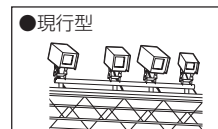
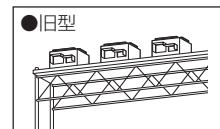
お買い上げ時には、GPS/NモードスイッチはOFFになっています。

NシステムGPS告知を使うときは、GPS/Nの位置に切り換えてください。



## 内蔵メモリーに登録されているNシステムのポイントに近づくと…

『ポーン 右(または、左)すぐ先に高速道(または、一般道)Nシステムがあります』とボイスでお知らせします。



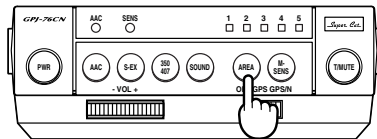
- GPS測位および地理的な状況によっては、NシステムGPS告知が直前になる場合があります。
- 新設のNシステムなどで、NシステムGPS告知されない場合は、マイ・エリア警告をご利用ください。
- NシステムGPS告知した場合でも、Nシステムは常時稼働しているとは限りません。



# マイ・エリア警告の使いかた

## 1 マイ・エリア登録をする

移動オービスがよく出没する位置や、新たに設置されたオービスポイントなど、自分で登録したい地点でマイ・エリアボタンを押します。  
押した地点を中心に半径約1kmのエリアが登録されます。



## 2 マイ・エリア登録を確認する

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアをセットしました』とボイスでお知らせします。

### ■すでにマイ・エリア登録されていたエリアのとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアはセットされています』とボイスでお知らせします。

### ■いったん登録したマイ・エリアを解除(消去)するとき…

マイ・エリア登録されているエリアで、マイ・エリアボタンを約1秒間押すと、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアを解除しました』とボイスでお知らせし、消去します。

### ■登録したマイ・エリアをすべて解除(消去)するとき…

マイ・エリアボタンを約30秒間押したままにすると、『ポーン ポーン 解除しました』とボイ

スでお知らせし、すべて消去します。

•いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。

### ■GPS電波を受信できず、マイ・エリア登録できなかったとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン GPSを受信できません』とボイスでお知らせします。

### ■マイ・エリア登録が30カ所を超えたとき…

マイ・エリア警告された頻度の最も少ないエリアを消去し、新しいエリアを登録します。

※GPS測位の状況によっては、最長20秒かかる場合があります。また、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしない場合があります。

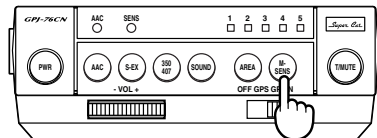
## 自分で登録したオービスポイントに近づくとき…

『ポーン 右(左)方向1km(500m)先にセットしたエリアがあります』と約1km手前と約500m手前の2回、ボイスで警告します。**【マイ・エリア警告】**  
警告エリアが約1km以内のときは『1km先に』→『この先に』とお知らせし、約500m以内のときは、距離に応じて『500m先に』→『300m/200m/100m/すぐ先に』のいずれかでお知らせします。



## 1 ミニマムセンス登録をする

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー警報がよく鳴るエリアで、レーダー警報を抑えたい地点でミニマムセンスボタンを押します。



## 2 ミニマムセンス登録を確認する

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアをミニマムセンスにセットしました』とボイスでお知らせします。

### ■すでにミニマムセンス登録されていたエリアのとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアはミニマムセンスにセットされています』とボイスでお知らせします。

### ■いったん登録したミニマムセンス・エリアを解除(消去)するとき…

ミニマムセンス登録されているエリアで、ミニマムセンスボタンを約1秒間押すと、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアを解除しました』とボイスでお知らせし、消去します。

### ■登録したミニマムセンス・エリアをすべて解除(消去)するとき…

ミニマムセンスボタンを約30秒間押したままにすると、『ポーン ポーン 解除しました』とボイスでお知らせし、すべて消去します。

•いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。

### ■GPS電波を受信できず、ミニマムセンス登録できなかったとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン GPSを受信できません』とボイスでお知らせします。

### ■ミニマムセンス登録が30カ所を超えたとき…

ミニマムセンス登録されているエリアへの侵入頻度の最も少ないエリアを消去し、新しいエリアを登録します。

※GPS測位の状況によっては、最長20秒かかる場合があります。また、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしない場合があります。

## ミニマムセンス登録したエリアに進入すると…

ミニマムセンス登録したポイントから半径約200mのエリアに進入すると、レーダー波の警報レベルをミニマム(最低)にし、不要なレーダー警報を抑えます。



GPSボイス警告、トンネル出口警告、マイ・エリア警告はミニマムセンス・エリア内でも警告されます。

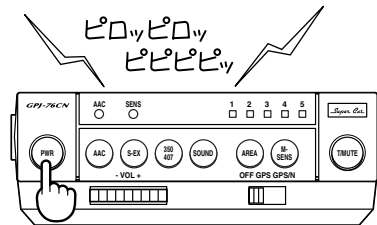


# AACシステムの使いかた

AACシステムは、GPS測位機能を利用して走行速度を検出し、停車中または低速走行中は警報をカットします。[特許 第3121768号]  
AACシステムがOFF(解除)の状態では、レーダー波を受信すると常に警報が鳴ります。  
お買い上げ時には、AACシステムはON(設定)になっています。

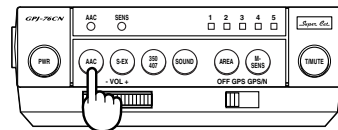
## 1 電源を入れる

AACランプが赤か緑色に点灯し、パワー・オン・ビーブが鳴ります。(12ページ参照)

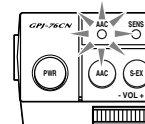


## 2 AACのONを確認する

AACランプが赤色または緑色の点灯の時は、ON(設定)の状態です。  
AACランプがオレンジ色の点灯のときは、OFF(解除)の状態ですので、AACボタンを押したままにします。



『ポポッ 自動感度モードにセットされました』とボイスでお知らせします。  
AACボタンを押したままにするたびに、AACシステムのON/OFFが切り換わります。



**ON(設定)**  
『ポポッ 自動感度モードにセットされました』  
赤色または緑色の点灯  
↓ ↑  
**OFF(解除)**  
『ピポッ 解除しました』  
オレンジ色の点灯

## 3 動作を確認する

### ■ AAC/不要警報カット

**走行速度が時速40km以下の場合…**

AACランプが赤色に点滅し、取締りレーダー波を受信しても、警報をカットします。停車中や低速走行中に、自動ドアなどの電波を受信しても、誤警報することはありません。

### ■ ASS/最適感度選択

**走行速度が時速40km以上の場合…**

AACランプが緑色に点滅し、走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

| 走行速度  | 受信感度         |         |
|-------|--------------|---------|
| 40km～ | ハイウェイモード     | スーパー感度  |
| 60km～ |              | エクストラ感度 |
| 80km～ | スーパーエクストラモード |         |

※AACシステムがON(設定)のときに、受信感度セレクトボタンを押すと、スーパーエクストラモードとなります。再度押すと、ASSモードに戻ります。



GPS/NモードスイッチがOFFまたはGPS測位していない状態が続くと、走行速度が検出できませんので、走行時間の経過に応じて、受信感度が自動的に変化します。

## GPS測位ができない場合は…

トンネルや高架の下などで、GPSの電波を受信できないところでは、GPS測位できませんので、速度検出もできません。

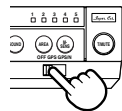
こんなときは、自動車にオルタネーター(発電機)から出ているパルスノイズの周波数変化でエンジンの回転数を算出し、停車中または低速走行中と想定される場合は警報をカットします。

[AACのインテリジェント機能]

## 回転数の設定を変更するには…

あらかじめ、回転数は約1,200回転に設定されていますが、お好みに応じ変更できます。

### 1 GPS/NモードスイッチをOFFにする

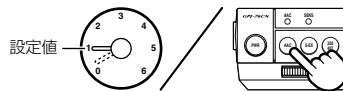


### 2 AACのONを確認する

AACランプが赤色または緑色のときは、ON(設定)の状態です。(39ページ参照)

### 3 AACが働くエンジンの回転数を設定する

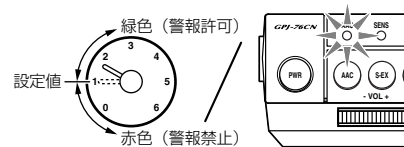
アクセルペダルを軽く踏み、希望の回転数でAACボタンを押します。(アイドリング状態より200~300回転高いところを目安に設定します)



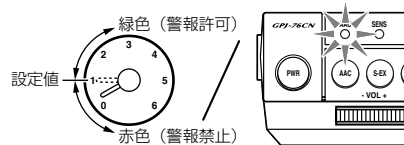
「ピポッ」と鳴り、「回転数がセットされました」とボイスでお知らせします。

### 4 動作を確認する

設定した回転数以下の状態では、AACランプは赤色ですが、設定した回転数以上にすると、数秒後にAACランプが赤色から緑色に変わります。



また、設定した回転数以下になると、数秒後に緑色から赤色に変わります。



### 5 GPS/Nモードスイッチを元に戻す

- ご使用になる車種によっては、パルスノイズの情報が少なく、AACが正常に働かないことがあります。
- エンジンの回転数は、AACが法定速度以下で働くように設定してください。
- 通常、エアコンをお使いの場合は、エアコンを入れた状態で設定してください。
- 車のランプ類やワイパーなどを使ったときに、エンジンの回転数が変化する場合は、それらを使用した状態で設定し直してください。
- A/T車でAACを使用する場合は、下り坂などでアクセルを戻すと、スピードが出ていてもエンジンの回転数が設定値以下となって、警報音が鳴らないことがあります。
- 一部のA/T車では、アイドリング状態で、シフトがドライブ(D)のときは正常に動作するのに、ニュートラル(N)にするとAACランプが緑色に点灯することがあります。このようなときは、エンジンの回転数を少し高めに設定してください。



# ASS機能について

## AACランプの点灯色と警報動作

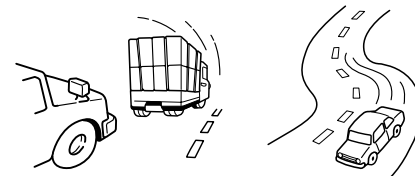
AACシステムをON(設定)にすると、低速走行/停車中の不要な警報を抑え、さらにASS機能が働いて走行速度に応じて受信感度が自動的に変化します。[特許 第3051676号]

|          |                 | 時速40km                                                                            |                                                                                   | 時速60km | 時速80km                                                                            | }}   | 時速40km |                                                                                     |                                                                                     |
|----------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------|------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 車の状態     |                 |  |  |        |  |      |        |  |  |
|          |                 | 停車                                                                                | 走行中                                                                               |        | 走行中                                                                               |      |        | 走行中                                                                                 | 停車                                                                                  |
| ON(設定)時  | AACランプ          | 赤色点滅                                                                              |                                                                                   |        | 緑色点滅                                                                              |      |        | 赤色点滅                                                                                |                                                                                     |
|          | 感度ランプ           | 赤色点滅                                                                              |                                                                                   |        | オレンジ色点滅                                                                           | 緑色点滅 | 青色点滅   | }}                                                                                  | 赤色点滅                                                                                |
|          | スーパーエクストラモード選択時 | 赤色点滅                                                                              |                                                                                   |        | 青色点滅                                                                              |      |        | 赤色点滅                                                                                |                                                                                     |
|          | 警報状態            | 警報しない                                                                             |                                                                                   |        | 警報する                                                                              |      |        | 警報しない                                                                               |                                                                                     |
| OFF(解除)時 | 受信感度            |                                                                                   |                                                                                   |        | ハイウェイモード                                                                          |      |        | スーパーエクストラモード                                                                        |                                                                                     |
|          |                 |                                                                                   |                                                                                   |        | スーパー感度                                                                            |      |        | エクストラ感度                                                                             |                                                                                     |
|          | AACランプ          | オレンジ色点滅                                                                           |                                                                                   |        |                                                                                   |      |        |                                                                                     |                                                                                     |
|          | 感度ランプ           | マニュアルモードで設定した受信感度のランプ色点滅。<br>シティモード(赤色)/ハイウェイ(エクストラ感度)モード(緑色)/スーパーエクストラモード(青色)    |                                                                                   |        |                                                                                   |      |        |                                                                                     |                                                                                     |
|          | 警報状態            | 警報する                                                                              |                                                                                   |        |                                                                                   |      |        |                                                                                     |                                                                                     |
|          | 受信感度            | マニュアルモードで設定した受信感度                                                                 |                                                                                   |        |                                                                                   |      |        |                                                                                     |                                                                                     |

## 取締りレーダー波を受信しにくい場合

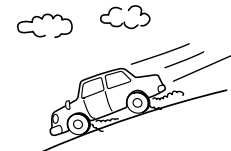
電波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。
- 対象の車が近くに来るまで、電波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。



〔前に走行中の車がある場合〕

〔コーナー〕



〔下り坂〕

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輛通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

その他

# 取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

## スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

### 1. 追走して測定する方法 (追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

※本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方受信します。また、カーロケータシステム搭載車の場合は、カーロケ帯受信機能により、警報をすることができます。

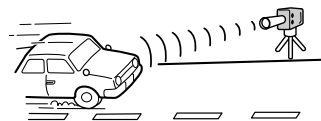
### 2. 距離と時間で算出する方法 (光電管式、ループコイル式)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、警報できませんが、GPS測位機能により、警報することができます。

### 3. 電波を使って算出する方法 (レーダー方式)

電波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。



現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流となると思われます。

## 取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

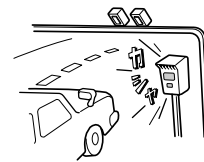
### 定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



### 自動速度取締り機(オービスⅢ)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



### 移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

### Kバンドについて

Kバンドは、米国ですでに使用されている取締りレーダー波の周波数で、日本国内でも使用される可能性があります。本機は、現在国内で使用されているXバンドに加え、Kバンドも受信できるX・Kツインバンド対応です。

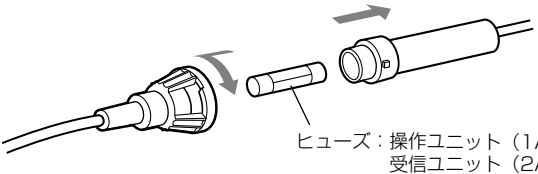
本機はレーダー方式のスピード測定装置に対応します。

※探知距離は、走行環境、測定条件などにより変わることがあります。

# 故障かな?と思ったら

つづく

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

| 症状                              | チェック項目                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 電源が入らない                         | <ul style="list-style-type: none"><li>各ユニットのコードの接続を間違えていませんか。特にアースコードの接続位置を確認してください。(取付説明書参照)</li><li>各ユニットの電源入力コード(赤)についているヒューズホルダー内のヒューズが切れていませんか。切れていた場合は、同一定格の新しいヒューズと交換してください。</li></ul>  |
| エンジン进行して、イグニッションキーを抜いても、電源が切れない | <ul style="list-style-type: none"><li>操作ユニットの電源入力コード(赤)がエンジンの始動・停止と連動しているアクセサリ(ACC)系の電源に接続されていますか。(取付説明書参照)</li></ul>                                                                                                                                                            |

その他

その他

| 症状        | チェック項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 反応(警報)しない | <ul style="list-style-type: none"><li>電源が入っていますか。操作ユニットのAACランプと受信ユニットの電源ランプの点灯を確認してください。</li><li>操作ユニットと受信ユニット間の伝送が正常に行われていますか。(12、16ページ参照)</li><li>警報機能が正しく働きますか。テスト&amp;ミュートボタンを押して確認してください。(12ページ参照)</li><li>AACランプが緑色で点灯していましたか。GPS/NスイッチをOFFにしてアクセルペダルを軽く踏み、エンジンの回転数をあげても赤色で点灯している場合は、AACの働くエンジンの回転数を適切に設定し直してください。(42ページ参照)</li><li>取締りレーダー波が発射されていましたか。取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。(特にオービスⅢではよくあります)</li><li>取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。</li><li>ミニマムセンス登録したエリアではありませんか。</li><li>GPS測位した状態で、時速40km以下で、走行していませんでしたか。(41ページ参照)</li></ul> |
| GPS警報しない  | <ul style="list-style-type: none"><li>GPS測位していましたか。</li><li>レーダー警報していませんでしたか。(レーダー警報がGPS警報より優先されます)</li><li>新たに設置されたオービスではありませんか。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

その他

## 故障かな?と思ったら

| 症状                                | チェック項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締りもしていないのに、警報機能が働く               | <ul style="list-style-type: none"> <li>取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると、警報機能が働くことがあります。故障ではありませんのでご了承ください。</li> </ul> <p>＜取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電波式の自動ドア、防犯センサー</li> <li>信号機の近くに設置されている車両通過計測機</li> <li>NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部</li> <li>気象用レーダー、航空レーダーの一部</li> <li>他のレーダー探知機の一部</li> </ul> |
| AACが正常に働かない                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>正しく設定されていますか。AACの動作を確認してください。(40ページ参照)</li> <li>GPS測位していましたか。測位していない場合や、GPS測位機能がOFFの場合は、エンジンの回転数により、AACが働きます。(42ページ参照)</li> <li>A/T車でお使いの場合、アイドルリング状態で、シフトポジションがドライブ(D)のときは正常に動作(AACランプが赤色に点灯)するが、ニュートラル(N)にすると、AACランプが緑色に点灯してしまう車種がまれにあります。このようなときは、エンジンの回転数を少し高めに設定し直してください。</li> </ul>             |
| その他<br>取締り現場なのに、350.1受信機能が正常に働かない | <ul style="list-style-type: none"> <li>カーロケ帯&amp;取締無線受信機能をONに設定していましたか。</li> <li>取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。</li> <li>連絡のための無線交信は、必要なときに短時間しか行いません。そのため、コミュニケーションモードで交信内容を完全に聞き取ることは難しくなります。また、アラームモードやボイスモードでは、1度アラームが鳴ったあと、30秒以内にもう1度350.1MHzの電波を受信してもアラームは鳴りません。</li> </ul>                         |

| 症状                                 |                                                                                                                          |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締り現場付近以外の場所で350.1受信機能が働く          | <ul style="list-style-type: none"> <li>放送局などの強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。</li> </ul>                                 |
| 警報の途中で音が小さくなる。                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>警報が30秒間以上続くと、警報を抑えるために、アラームが小さくなります。(16ページ参照)</li> </ul>                          |
| GPS（カーナビゲーションシステム）の電源を入れると、警報機能が働く | <ul style="list-style-type: none"> <li>カーナビゲーションシステムのGPSアンテナの設置場所を変えてください。それでも警報機能が働くときは、弊社営業所・サービス部にご相談ください。</li> </ul> |

# 仕様

|       |                                                                                                                           |                                                                                                                                    |             |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 電源電圧  | : DC12V (マイナスアース車専用)                                                                                                      | 動作温度範囲                                                                                                                             | : -20℃～+85℃ |
| 消費電流  | : 操作ユニット<br>…待機時 130mA以下(GPS部/UHF部 OFF時)、最大 250mA以下<br>受信ユニット<br>…待機時 85mA以下(GPS部/UHF部 OFF時)、最大 150mA以下、<br>エンジン停止時 5mA以下 | (GPS部: -20℃～+80℃)<br>(UHF部: -10℃～+60℃)                                                                                             |             |
| 受信方式  | : [GPS部]<br>12チャンネル/パラレル受信方式<br>[レーダー部]<br>スweepオシレーター式ダブルスー<br>パーヘテロダイン方式                                                | 本体外形寸法: 操作ユニット<br>…85(W)×30(H)×54(D)mm<br>受信ユニット<br>…94(W)×37(H)×44(D)mm(突<br>起部除く)<br>GPSアンテナ<br>…36(W)×12(H)×36(D)mm、<br>コード長 5m |             |
| 受信周波数 | : [GPS部] 1.6GHz帯<br>[レーダー部] Xバンド/Kバンド<br>[UHF部] 350.1MHz/407.7MHz帯                                                        | 本体重量 : 操作ユニット…112g<br>受信ユニット…175g<br>GPSアンテナ…100g(コード含む)                                                                           |             |
|       |                                                                                                                           | ※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。                                                                                    |             |

その他

# アフターサービスについて

つづく

- 1. 保証書(別に添付してあります)**  
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 2. 保証期間**  
お買い上げの日から1年間です。
- 3. 対象部分**  
機器本体(消耗品を除く)
- 4. 修理をご依頼されるとき**  
「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。  
●保証期間中のとき  
保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

- 保証期間が過ぎているとき  
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 5. アフターサービス等についてご不明の点は**  
お買い上げ販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部(添付の一覧表をご参照願います)にお問い合わせください。
  - 6. オービス&Nデータの更新**  
本機にあらかじめオービスおよびNシステムのポイントのデータが登録されています。新設のオービスやNシステム等を盛り込んだ最新データへの更新をご要望される場合、有料(送料・税別¥5,000)にて、データ更新させていただきます。お買い上げの販売店まで、操作ユニットのみ取りはずしてご持参ください。一旦お預かりし、弊社にてデータ更新後に返しいたします。

その他

# アフターサービスについて

## ●ユピテルで相談窓口一覧

ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日 9：00～17：30です。ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けていたしておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

お客様ご相談センター **TEL. (0564)45-5599**

| 地 区                                           | 名称・電話番号・所在地                                                                          |
|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 北海道                                           | 札幌営業所・サービス部 <b>TEL. (011) 618-7071</b><br>〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F |
| 青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島                             | 仙台営業所・サービス部 <b>TEL. (022) 284-2501</b><br>〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F        |
| 栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡(西部の一部地区を除く) | 東京営業所・サービス部 <b>TEL. (03) 3769-2525</b><br>〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F          |
| 岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・静岡(西部の一部地区)                 | 名古屋営業所・サービス部 <b>TEL. (052) 461-1281</b><br>〒453-0053 愛知県名古屋市中村区中村町6-5                |
| 滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知                | 大阪営業所・サービス部 <b>TEL. (06) 6386-2555</b><br>〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10                   |
| 鳥取・島根・岡山・広島・山口                                | 広島営業所・サービス部 <b>TEL. (082) 230-1711</b><br>〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2                  |
| 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄                      | 福岡営業所・サービス部 <b>TEL. (092) 552-5351</b><br>〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19                 |

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

## ＜無料修理規定＞

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居で贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
  - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
  - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
  - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
  - (ヘ) 本書のご提示がない場合
  - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
  - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
  - (リ) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

### 故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。